SILVER CLUB　　２００５年１１月１７日発行(P1)

しるばあくらぶ

第４号

SILVER CLUB Office : B-4 L-12 Ph 5BB. Cristobal St. Gatchalian. Subd., Las pinas City　TEL:820-3140

月例懇親会

１０月１５日(土)午後６時から・レストラン福松。開会に先立ち先般実施したゴルフ大会のスコアーを張り出すと同時に指摘がありました。「ベスグロの名前、堀となっているけどボク堀井です」・・指摘を受けた通りスコアーも写真も間違っていました。で、当日出席された方にはその場で訂正しましたが会報だけ見られた方にはここで訂正させて頂きます。↓

◇間違いの訂正：第２ページのスコアーおよび掲載写真の方の名前「ベスグロに輝く堀氏のショット」と記載しましたが正しくは「堀井氏」の誤りです。編集部のミスでした訂正してお詫び申し上げます。

今回はゴルフ大会の話題で懇親会の始まる前から賑わっていました。ゴルフから始まった話は次々と話題が変わり、ビールの栓が開けられるころには某・・ハッキリ言ってしまえば塩見氏のテーブルではどのように話題が変化していったか分かりませんがゴキブリとネズミの話にまで発展していました。

今月は教え子の結婚式に参加のため来られなかった曹氏、日本に帰国している会員さんが複数名、また所用で時間のない方もいましたがそれでも２１名の方が集まりました。皆さん経験も話題も豊富で話し始めると切れ目がなく、お知らせのために立ちあがった係が切り出すタイミングをとれずにいる一幕もあるほど各テーブルとも盛り上がっていました。↓

◇お知らせ：１２月の懇親会をシルバーデーとして２部に分け、第１部「第２回ゴルフ大会」・第２部「クリスマスパーティ」とすることが賛成者多数で可決しました。細部実施要領は別の欄にて報告。

今月の出席(アイウエオ順)赤坂氏・天野氏・入江氏石山氏・岡　氏・片瀬氏・片山氏・金井氏・河村氏岸川氏・小林氏・塩見氏・関根氏・中原氏・畑　氏堀井氏・森　氏・桃田氏・門田氏・山口氏・渡辺氏以上２１名。定刻９時に一応の区切りとして解散しましたが最終組は１１時まで頑張りました。Ｍ・Ｊ

いつもテーブル毎なのでたまには集まって撮ろうよ

箸を持つ暇もなく語りつづける岡さん（手前左）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ホームページを開設しています＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

シルバークラブのホームページを開設しています。　ホームページ番号 **http://manilasilv.exblog.jp/**
まだ開設して間がありませんが逐次整備して近況をお知らせ致します。一度アクセスしてご覧下さい。

シルバークラブ　懇親会のご案内

毎月第３土曜日を開催日として会員やお客様が集まって談笑しています。細部、場所・時間については２～３日前にマニラ新聞に掲載します

日本料理店「福　松」
Japanese Restaurant Fukumatsu
5675 Alabang-Zapote Road PamplonaⅢ,Las Pinas Cit
Tel:0917-943-6514　e-mail:fukumatsu @ hotmail. com

会員さん紹介

門田昌昭さん（在比６年）　◇出　生：１９４２年４月　◇出　身：兵庫県（勤務地大阪）

モンタではありませんカドタでもありません。「モンダ」といいます。小学校の教員として３４年間勤めたリタイアメントです。フィリピンにきたのは１９９９年、老後の探索が目的でしたが何故だかそのまま居着いてしまいました。初めての印象は「何て優しい人達なんだろう。いい国だなあ」と思ったのですが、３ヶ月も過ぎる頃「何でやねん！」と思うことがたくさん出てきました。と言うより常に小さな疑問や不信感があって、日頃は心にしまい込んでいたのが積もり積もって包みきれなくなり「何でやねん」と口にするようになったのが本当の所だと思います。初めカブヤオの老人施設に２年間住んで日本語を教えていました。新天地のつもりで一すじに頑張っていましたが、慣れがきて少し余裕が出来、更に古くからの人達の話やアドバイスなど聞いていると将来を含めたいろんな事を考えるようになるものです。９年間独身を続け一人ぼっちの生活をしていた私、果たして誰が俺の老後の面倒見てくれるのか・・・確かに老人施設には住んでいるけれど・・・そんなことを総合的に考えた結果やがて施設を出ました。私は一つ失敗しました。専門が語学担当だから、というわけではありませんが経済の知識がなくペソの弱さを知らなかったのです。当時のレートは３１、持ってきた３３００万全部両替してしまいました。「今だったら」と思うと残念です。あれから６年、結婚して２年近くになります。フィリピン人を嫁にもらってハッピーな毎日、現在将来とも嫁まかせの人生と思っています。楽しみは飲むこととゴルフ。シルバー会にはいろんな体験をされた方がいるのでその方達の知恵とアドバイスに期待しています。

◇ シルバー会館の開設、中間報告 ◇

現在、会員の臼井正徳氏が日本に一時帰国されていますがフィリピンを発つ前に石山会長より囲碁と将棋を２セットづつ購入してくるように依頼されました。同氏は１１月上旬マニラに帰る予定ですからその際に持ち帰ってシルバー会に届けられるようになっています。遊び道具の少なかった時代を通ってきた私達の年代層ですから囲碁・将棋などをする方は多いと思います。同好者の皆様ご期待ください。

◇ フィリピンの危険情報について ◇

会員の皆様および日本から皆様の所に来られるお客様への情報提供の一環として日本大使館に最近の危険情報について問い合わせました。皆様よく御存知のＴ領事と同部所のＳ領事が丁寧に応対下さり、１～２週間のうちに新しい危険情報が発行されるという返事があったのでその節は戴きにあがることを申し出ておきました。来月号には最も新しいフィリピンにおける危険情報を掲載できると思います。

◇ 寸借詐欺、最近の実例 ◇

当然偽名でしょうが一応名前は「諏訪」。３７歳前後。身長１７２程のガッシリタイプ。居住場所はマリバイという。いつもスポーティーな服装で礼儀正しくハキハキした話し方。フロッグマンのような目つきが特徴。どこかで入手した人の名刺を見せて自分との関係を語ったりする。自分ではうまく立ち回ってるつもりだがハッキリ言って下手。接近法は、ある場所を探していて道に迷ったが偶然日本人らしい人を見かけたので立ち寄った・・その後親しげに何度も通って来る。毎回何とかして金を借りようと試みる。最終的な一例：今日は良いニュースです。「金ぷら」に就職が決まりました？月５万ペソ？。暫く話のあと「取り敢えず５００、なければ３００貸して下さい。水曜日がオフなので持ってきます」。調べなくてもウソは分かるが熱心さと心根が可哀想になり、３００ペソくらいで２度と来なくなるなら騙されてやってもいいかという気にさせます。

☆☆☆

ノリさんのフィリピン談義

入江則昭

◇ 明日でいいことは今日やるな ◇

フィリピンと日本ではいろいろなところで違う事があります。日本からやってくると先ずその事に気がつき、その事に当惑し、その事に不満を感じます。その一つに「明日でいいことは今日やるな」という習慣があります。何でも「ママヤ（後で）」という習慣もあります。「将来の事にあまり気を遣わず、今日が楽しければそれでいい」という考え方であり私達日本人にはなかなか理解しにくい考え方です。アジア諸国の中で自殺者が一番多いのが日本、一番少ないのがフィリピンだと言われています。だからこそフィリピンはいつまでたっても成長しないとも言われています。ＪＲ福知山線での事故は日本だからこそ起こったもので、フィリピンでは多分起こらないでしょう。どちらがいいことなのでしょう？。私は日本人です。なかなかフィリピンの考え方にはついて行けません。それどころか日本人の中でも→特別「今日やっていいことは全部今日やってしまう」性格なのです。また将来の計画もきっちり決めておかないと落ち着かない性格なのです。例えば「何月何日、何時あなたは何をしていたか」と聞かれれば一ヶ月くらい前のことならほとんど確実に答えられます。これは本当に幸せな性格と言えるでしょうか時々疑問に思うことがあります。

毎日起きると同時に一万歩の散歩に出かけ、７時半に戻りますが同じ道を往復しているので出発時間に多少の狂いがあっても腕時計を見て７時半に帰れる所でターンして帰ってきます。太陽の方がはるかに気まぐれで夏と冬じゃ一時間も日の出が違います。帰ったら汗ビッショリ、そのまま老人ホームの風呂に飛び込みます。お昼前には老人ホームのプールで５００米泳いだ後日本食の昼食。午後はゴルフ場のショートコース通い。これが私の通常の日課です。

マニラシルバークラブの懇親会も第３土曜の６時からと決まっています。私の場合は日課だけではなく“週”から“月”の行動まで１ヶ月前から決めています。こういう生活は堅苦しい。その時の気分で変化のある生活をやりたい・という人は当然いるでしょう。特にフィリピン人はその傾向が強い様です。妻が日本にいた時、ソニーなどの会社に勤めた事があります。結構いい待遇で日本人社員と違いません。ところが彼女の友人も含めて殆どのフィリピン人が途中で解雇されるのです。原因は一つ、突如として無断欠勤するからです。ラインの仕事ですから当然困ります。仕事が出来ない、不良品を作るといった苦情はほとんど聞いたことがありませんが、全部が全部と言っていいほど無断欠勤が解雇理由です。→その時の気分で簡単に休んでしまうのが普通です。聞くところによるとフィリピンに進出している日本企業ではこの無断欠勤は認めているようです。そうしなければフィリピンでは仕事を続けることが出来ないからでしょう。約束ごと・スケジュールなどにしたがって着実に実行するのが日本人の常識です。しかし、フィリピン人にすれば将来のことや楽しくないこと、窮屈なことになるべく関わりたくない。今を楽しむことが大切なのでしょう。日本人のように将来のことを心配し、定時にものごとを処理することにこだわるあまり自殺者は増え、鉄道事故は今後とも起こるかも知れませんが私にとってはやはりやらねばならないことは早い目にやっておく世界の方が暮らし易いようです。

ちょっと面白かった話 と ホントにくだらない話

◇真面目な社員の話：かなり以前のことですが、竹中グループの請負、藤堂組にいた新入社員。この女性、清楚で可憐な感じですが根性がありました。ある日の昼休み、事務員が出払ってこの女性一人が部屋にいたので彼女にＦＡＸを依頼、書類を渡しました。ややしばらくして相手の建設会社から電話が来た「あんたとこは何や、これ、いやみか・・！」。いきなり険悪なムード。強気な性格で引くことの嫌いな藤堂氏だがここは落ち着いて話を聞きました。相手の言うには「同じ文面を２０枚近くも・・・・巻紙が無くなってしもたわ」とかなりの剣幕です。確認のために事務所に行ったところ、作業中の女性「済みません、何回もやっているんですけど戻って来るんです」泣きそうな顔で謝る。オリジナルそのものが相手に届くものと思っていたらしい。吹き出しそうな気持を抑えて事情を説明したら相手側にも大受けして「よう頑張った！言うて誉めたって」とねぎらいの言葉が返って来た。　提供者 TODO

◇立ち小便をみていた日々：ボクは長年自衛隊をやっていました。毎月のように演習があり山の中や原野での生活を３０数年繰り返しましたがその間、自分も含めた立ち小便の風景を見続けました。で、その立ち小便ですが、人間っておかしなもので必ず何かに向かってやるんですネ・・原野では主として立木や杭・樹などに向かってやります。道路でも、演習場の道は舗装されていませんがなんぼ兵隊でも道の真ん中でするやつはいません。道路脇の電柱や側溝、草むらに向かって、何もない場所でもたった１本の草１個の石でもあればそれに向かってします。どういう心理なのでしょうか、動物だった頃の遠い記憶に何かあるのかと思ったりもしました。そしてフィリピンにきて、原野での情況はみていませんが道端での小用は似たようなものです。一つだけ日本と大きく違うのは自分の車の陰でタイヤに向かってやるんです。こんなくだらないことを何十年も観察してたって、バカな男ですねェ。　提供者 YAMA